

すこやか

令和7年度第2号

可児市家庭教育学級通信



ドキドキ赤ちゃんふれあい体験 自分が大切に育てられたことを実感！！



夏休みに、中高生を対象にした「ドキドキ赤ちゃんふれあい体験」がマーノで開催されました。3回の講座で、28名の生徒の皆さんが参加してくれました。とても人気の講座で、数日の間にあっという間に定員が埋まってしまったほどです。「将来保健師になりたい」「赤ちゃんがかわいい。赤ちゃんを抱っこしてみたい」等いろいろな理由で参加してくれました。保健師からクイズやカードを並び替える活動を通して赤ちゃんの発達について学びました。どんな順番で赤ちゃんは成長していくのか保育士サポーターと一緒に真剣に考えることができました。生徒の皆は、実際に赤ちゃんを抱っこしてみると、「命の重みを感じる」「育児は大変なのにお母さんたちがニコニコして赤ちゃんに接していて驚いた」と目を輝かせて話してくれました。自分が大切に育てられたことに感謝する機会となりました。

はいはいと首が座るはどっちが先かな？

安定した抱き方はこうかな？

お腹が大きくて動きにくいなあ。



声に反応する赤ちゃんかわいい！！

離乳食って味が薄いんだね。

笑顔で見つめてくれるね。



生徒さんの感想（一部抜粋）

☆はじめは、なんとなく「大変だな～」くらいに思っていたけれど、子育てをするお母さんと触れ合って、成長の過程を知ったり実際に抱っこしてみたりして、「命を育てる」ということの大変さや重要さ、喜びを知ることができて、自分の将来を考えることができた。

☆僕の親は本当に大切に育ててくれたんだなと思いました。出産前からお腹が大きくて大変だったと思うし、出産後も考えることがたくさんあったんだろうと思ったので、今生きていることに感謝していきたいです。

☆赤ちゃんにも一人一人個性があって抱っこしても泣かない子や目を合わせたり触れたりするだけで泣いてしまう子もいて小さくても一人の人間だなと感じました。赤ちゃんがお腹の中にいて大きくなってくると、歩くのも下の方に手を伸ばすのも大変で、座っているととても楽だと分かったから、ヘルプマークを付けている人や妊婦さんを見かけたら席を譲ることが大切だと体験を通して分かりました。

☆僕が7カ月の時も、お父さんやお母さんに大切に育てられてきたと分かりました。僕を産んでくれたお母さんに感謝をしたいと思います。

親御さんの感想（一部抜粋）

☆子育ては大変ですが、大変さを吹き飛ばすくらい我が子は、愛おしい宝物です。今日はたくさん遊んでいただけてありがとうございました。

☆大変なことも多いですが子育てはとっても幸せな時間です。

☆学生の子たちが自分の子どもが泣いていてもいろいろな方法であやしてくれて遊んでくれて嬉しかった。

発見！夏休み中の家庭教育学級

長い夏休みが終わりましたね。今年は行政と連携しながら家庭教育学級講座を運営している学級が多くあります。新たな発見、学びがありました。その一部を紹介します。

広見小学校×可児市防災安全課

地震体験車で震度7も経験



旭小学校×ささゆりクリーンパーク

ごみの分別について学ぶ



可児市 子育て支援課 子育て応援係 山口 亜衣
電話：62-1111(内線 5545) FAX：66-1005
E-mail: kosodate@city.kani.lg.jp